ナンバリ	ング	授業科目名(科目の英文名)							区分・【新主題】/(タ		授業形式						
,,,,,,		ピア	,		1X <del>X</del> -1	144(1140)	<u> </u>		区分 19/1上区1/()	) = J <i>)</i>	文	す面	17.5	<del>ベ</del> //ノ-			
E11210	013	(Pian	10 )														
必修選折	<u>i</u> 5	 単位		学部	学期	曜・限	 主に使用する言語	7	│ の他に使用する言語	 担当形態							
25 192237		- 1-2	732(17)	教育学部	3 743		工厂区////		O ICICIANO O DIN								
必修		1	2	令和2年度	FII HE	金2	日本語					単独					
219		.	-	以降入学生用		362	н тин						- 124				
担氏名	田中	an															
当																	
教																	
員 E-mail		tanaka@oita-u.ac.jp 内線 7618															
授りナチ	Fネ程度のピアノ曲を実技指導し、簡単な歌唱教材の伴奏に対応できる演奏能力を身につける。																
の																	
概 要																	
英   具体的な到達目標											7						
目標1 中学校の音楽教員に必要なピアノの技法を習得することができる									Ť	_			Ť	Ť	Ė		
目標2 ピアノ演奏に必要な基本的な奏法を習得することができる。																	
目標3										4				_		<u> </u>	
目標4										_				_		<u> </u>	
目標5										+-				$\dashv$	_	<del>                                     </del>	
目標7										$\vdash$				$\neg$			
目標8																	
目標9									<u> </u>						<u> </u>		
目標10										4				_		<u> </u>	
哲学の古古						各DPへの関連/	度(計10)			7	3						
授業の内容																	
2 ピアノ		につい	1T														
			なタッチに	ついて													
4 ピアノ	を演奏	する上	での姿勢に	ついて													
			方について														
			- ズの取り方 - ィキュレー	iについて ·ションについて													
			<u>・1 1 4 レ</u> )表現法につ														
9 ピアノ																	
10 合理的	な指使	いにつ	いて														
			バランスに														
12   和音の   13 演奏上			<u>`せ方につい</u>	17													
				 うための工夫													
15 実技試																	
	は知識の定着・確認 ピアノ演奏を通して、音楽表現に必要な演奏技術を身につける。さらに アスピアノ実技なので、個人指導、							およて	ゾグリ -	/- 5	指導	を行	īι,	学			
T	<u>気見の表現・交換</u> は楽曲の表現の可能性を模索し、作品を通して受講者の主体的な演奏技 夫の 生とのディスカッションの中で、							解釈の可能性を探る。									
ンィ (:)	C:応用志向																
0.7	H pBX UJ/	рт і		られた課題を前	もって準備	<del></del> 備する。ハノン		┸ ル数材を活用	 用する。(10h)								
	2	準備学															
授業時間外																	
学修の内容			授業	で行った内容を	再確認し、	事後の練習は	こ生かす。(13h)										
と想定時間	1	事後学	修														
			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •														
			合計 23 ハノナチネ	またはソナタの	/ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	上版社け四かた	71.1 )										
教科書	上层	, L , ,	, , , , , <del>,</del> ,	SICIAZI 90	·木唱。(L	ᆈᄱᄭᆚᆸᆁᄭᄻ	>• • · <i>)</i>										
																_	
参考書	そのこ	ンど指え	<b>主する</b> 。														

	評価方	法	割合	目標 1	目標 2	目標	目標 4	目標 5	目標	目標 7	目標	目標 9	目標 10	
績評	授業へ	の取り組み	40%											
価	最終試	験	60%											
の														
方法														
及														
び														
評														
価割														
品合	評価に	評価については、具体的な到達目標で掲げた内容について実技試験で評価する。												
注	意事項	毎日の練習の積み重ねが重要。												
備考		特になし。												
	リンク													
٠,		URL												